

2022年度卒業生を対象とした学修行動調査結果の概要

《調査の概要》

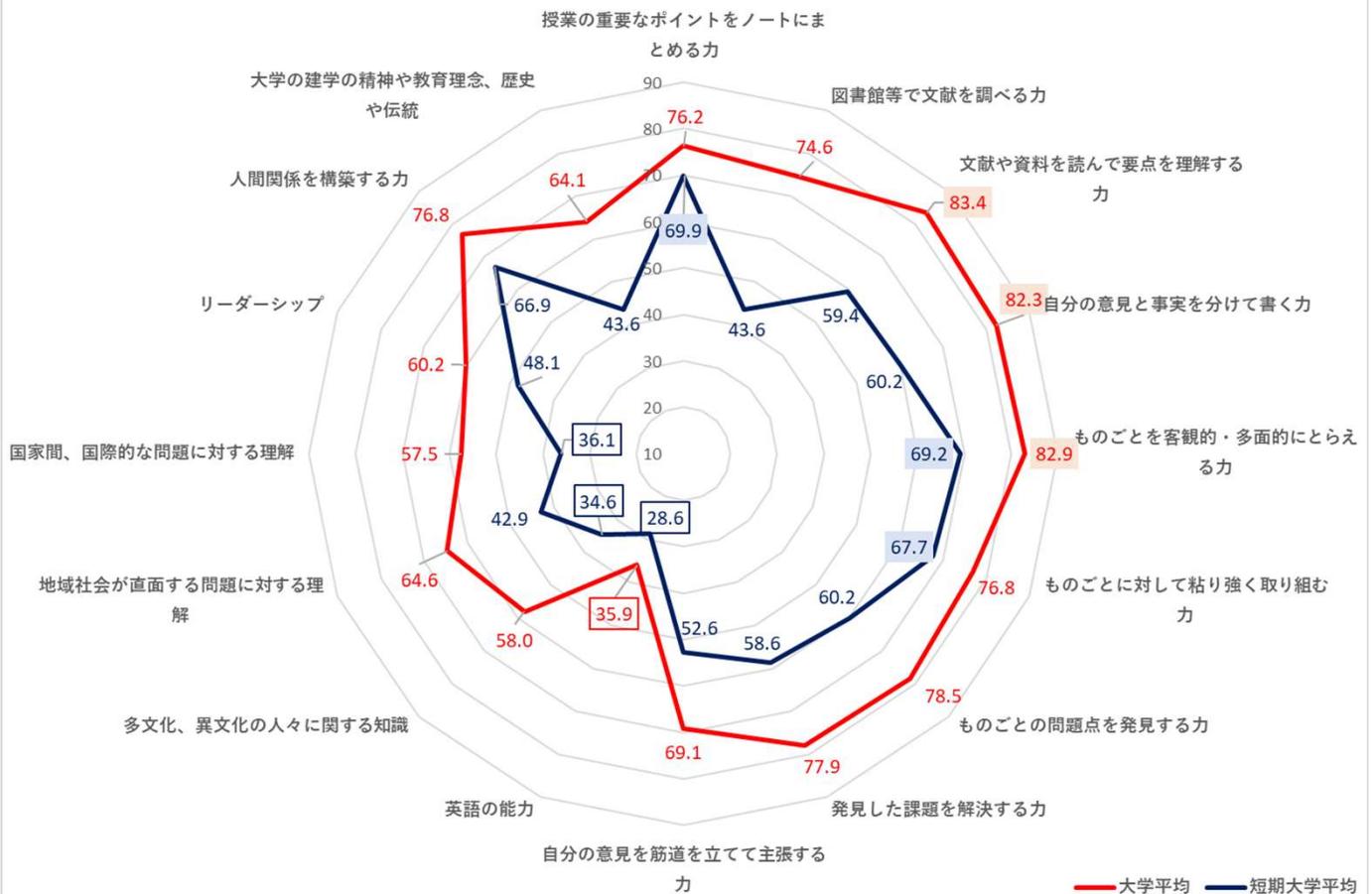
- 1 実施目的 本学学生を対象に毎年実施している「学修行動及びキャンパスライフ調査」の中から、2022年度卒業見込みの学生（大学4年生及び短大2年コース2年生、3年コース3年生）に係る、課程全体を通じた成長実感、本学の教育や学生生活に対する満足度などについて、集計・分析を行い、教育改革等に反映させるため。
- 2 実施日 2022年12月
- 3 実施形態 Webまたは調査票用紙での記名式回答
- 4 回答者数・回収率

学科名		学年	在籍者	回答者数	未回答者数	回収率	備考
大 学	言語文化学科	4年	43	41	2	95.3%	
	ビジネス心理学科	4年	38	36	2	94.7%	
	地域マネジメント学科	4年	38	27	11	71.1%	
	看護学科	4年	81	77	4	95.1%	
	計	4年	200	181	19	90.5%	
短 期 大 学	健康栄養学科	2年	28	27	1	96.4%	2年コース
		3年	36	36	0	100.0%	3年コース
		計	64	63	1	98.4%	
こ ど も 育 成 学 科	2年	18	17	1	94.4%	2年コース	
	3年	57	53	4	93.0%	3年コース	
	計	75	70	5	93.3%		
計	2年	46	44	2	95.7%	2年コース	
	3年	93	89	4	95.7%	3年コース	
	計	139	133	6	95.7%		
合 計			339	314	25	92.6%	

1 学習習熟度（入学後の成長実感）

- ・学習習熟度に関する16項目について、入学後の状況を尋ねた。
- ・「伸びた」は、入学後に「かなり伸びた」「ある程度伸びた」と回答した者を合せたもの。
- ・大学全体では、各項目について7割から8割の学生の学生が「伸びた」と回答したが、「英語の能力」（35.9%）は特に低かった。また、「多文化、異文化の人々に関する知識」（58.0%）、「国家間・国際的な問題に対する理解」（57.5%）、「リーダーシップ」（60.2%）も6割に留まり、比較的低かった。
- ・短期大学は6割前後の項目が比較的多い中、「英語の能力」（28.6%）、「地域社会が直面する問題に対する理解」（34.6%）、「国家間、国際的な問題に対する理解」（36.1%）が特に低かった。
- ・大学と比較すると、短期大学は、「図書館等で文献を調べる力」（43.6%）、「大学の建学の精神や理念、歴史や伝統」（43.6%）が低かった。

学習習熟度－入学後の成長実感－



No.	項目	大学				大学平均	短期大学			合計
		言語文化	ビジネス心理	地域マネジメント	看護		健康栄養	こども育成	短期大学平均	
1	授業の重要なポイントをノートにまとめる	70.7	77.8	70.4	80.5	76.2	66.7	72.9	69.9	73.6
2	図書館等で文献を調べる力	85.4	69.4	59.3	76.6	74.6	41.3	45.7	43.6	61.5
3	文献や資料を読んで要点を理解する力	92.7	72.2	77.8	85.7	83.4	57.1	61.4	59.4	73.2
4	自分の意見と事実を分けて書く力	87.8	83.3	81.5	79.2	82.3	55.6	64.3	60.2	72.9
5	ものごとを客観的・多面的にとらえる力	82.9	83.3	81.5	83.1	82.9	65.1	72.9	69.2	77.1
6	ものごとに対して粘り強く取り組む力	68.3	66.7	85.2	83.1	76.8	60.3	74.3	67.7	72.9
7	ものごとの問題点を発見する力	70.7	61.1	92.6	85.7	78.5	49.2	70.0	60.2	70.7
8	発見した課題を解決する力	70.7	69.4	77.8	85.7	77.9	54.0	62.9	58.6	69.7
9	自分の意見を筋道を立てて主張する力	75.6	58.3	66.7	71.4	69.1	52.4	52.9	52.6	62.1
10	英語の能力	48.8	36.1	44.4	26.0	35.9	15.9	40.0	28.6	32.8
11	多文化、異文化の人々に関する知識	92.7	58.3	63.0	37.7	58.0	23.8	44.3	34.6	48.1
12	地域社会が直面する問題に対する理解	65.9	58.3	85.2	59.7	64.6	36.5	48.6	42.9	55.4
13	国家間、国際的な問題に対する理解	70.7	52.8	70.4	48.1	57.5	28.6	42.9	36.1	48.4
14	リーダーシップ	58.5	55.6	48.1	67.5	60.2	44.4	51.4	48.1	55.1
15	人間関係を構築する力	87.8	72.2	59.3	79.2	76.8	65.1	68.6	66.9	72.6
16	大学の建学の精神や教育理念、歴史や伝統	65.9	77.8	59.3	58.4	64.1	46.0	41.4	43.6	55.4

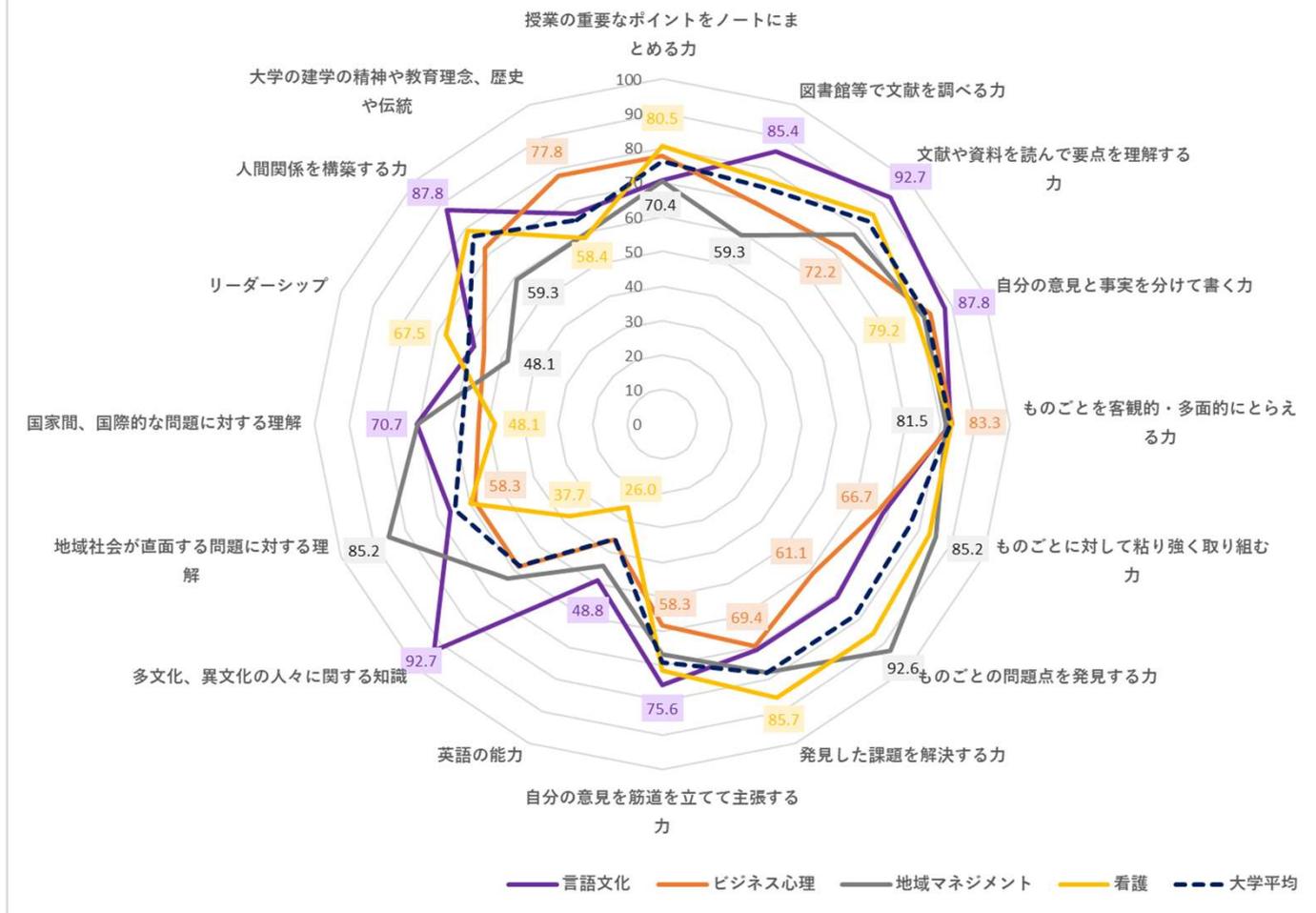
1 学習習熟度 学科別比較

※「かなり伸びた」「ある程度伸びた」と回答した者を合せたもの。

(1)大学

- ・大学平均と比較すると、言語文化学科は、大学平均を上回る項目が多かった。特に、学科の学びに関係が深い「多文化・異文化の人々に関する知識」(92.7%)、「国家間・国際的な問題に対する理解」(70.7%)が高かった。また、その他の項目についても「文献や資料を読んで要点を理解する力」(92.7%)、「人間関係を構築する力」(87.8%)、「図書館等で文献を調べる力」(85.4%)が高かった。
- ・一方、ビジネス心理学科は大学平均を下回る項目が多かった。「大学の建学の精神や教育理念、歴史や伝統」(77.8%)は、大学平均を上回ったが、「ものごとの問題点を発見する力」(61.1%)は平均と比較して特に低かった。
- ・大学平均と比較すると、地域マネジメント学科には特徴的な傾向が見られた。学科の学びに関係が深い「地域社会が直面する問題に対する理解」(85.2%)のほか、「ものごとの問題点を発見する力」(92.6%)「国家間・国際的な問題に対する理解」(70.7%)が高く、平均を上回った。その一方で、「図書館で文献を調べる力」(59.3%)、「人間関係を構築する力」(59.3%)、「リーダーシップ」(48.1%)が低く、平均を大きく下回った。
- ・看護学科は、概ね平均に近似した傾向が見られた。

入学後の成長実感（大学：学科別）



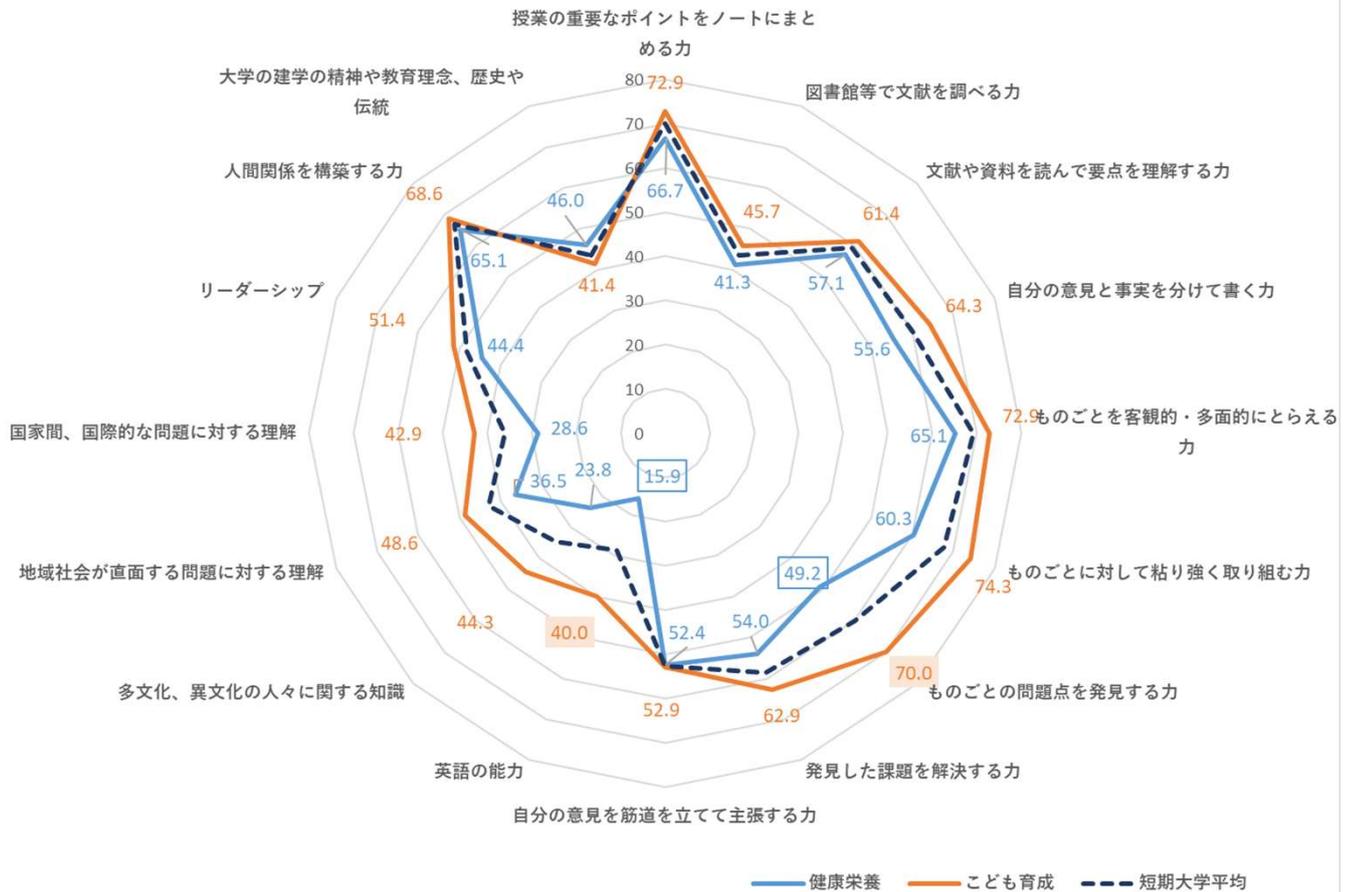
1 学習習熟度 学科別比較

※「かなり伸びた」「ある程度伸びた」と回答した者を合せたもの

(2) 短期大学

- ・短期大学平均と比較すると、健康栄養学科は多くの項目で平均を下回った。中でも「ものごとの問題点を発見する力」(49.2%)、「英語の能力」(15.9%)が特に低かった。
- ・こども育成学科は、多くの項目で平均を上回った。「ものごとの問題点を発見する力」(70.0%)、「英語の能力」(40.0%)が比較的高かった。

入学後の成長実感 (短期大学：学科別)



2 大学に対する満足度 教員との関わり・大学生活・本学の教育

(1) 教員との関わりについての満足度

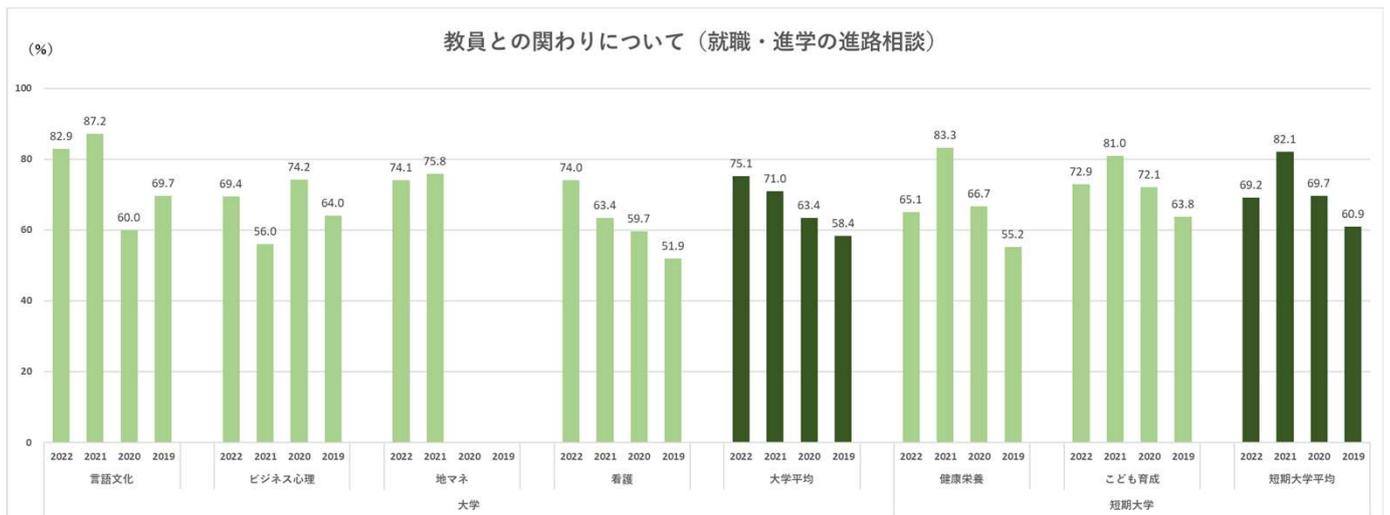
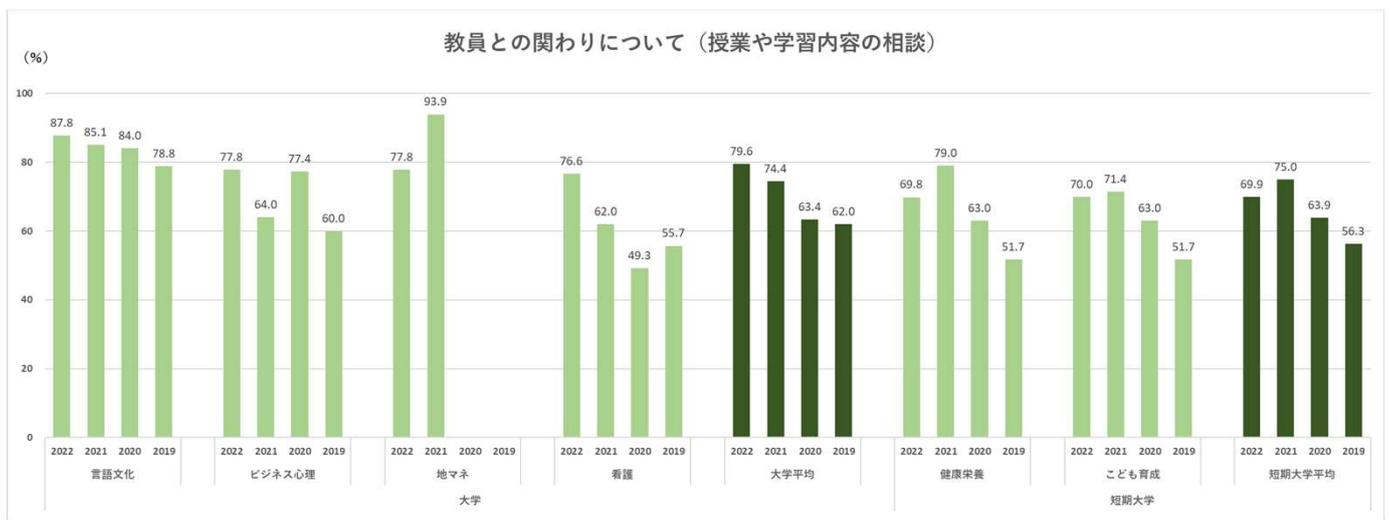
※「満足している」と「ある程度満足している」と回答した者を合せたもの

①授業や学習内容の相談

- ・大学平均は微増前年度に比べて、短期大学平均は前年度に比べて微減となった。
- ・ビジネス心理学科、看護学科は大きく増加し、言語文化学科、こども育成学科は横ばいとなった。
- ・地域マネジメント学科、健康栄養学科は大きく減少した。

②就職・進学の見路相談

- ・大学平均は前年度に比べて微増、短期大学平均は前年度に比べて減少した。
- ・ビジネス心理学科、看護学科は増加し、言語文化学科、地域マネジメント学科は横ばいとなった。
- ・健康栄養学科は大きく減少し、こども育成学科でも減少した。



2 大学に対する満足度 教員との関わり・大学生生活・本学の教育

(2) 大学生生活、本学の教育全般についての満足度

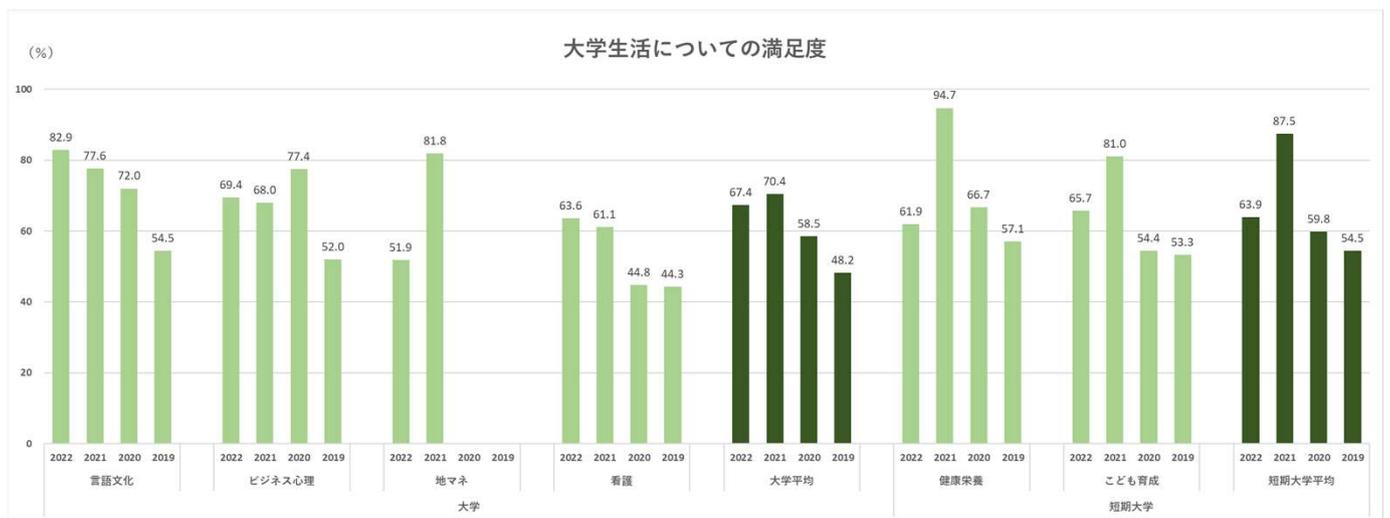
※「とても満足している」と「ある程度満足している」と回答した者を合せたもの

① 大学生生活についての満足度

- ・ 大学平均は前年度に比べて微減、短期大学平均は前年度に比べて大きく減少した。
- ・ 言語文化学科は増加、ビジネス心理学科、看護学科は横ばいとなった。
- ・ こども育成学科は減少し、地域マネジメント学科、健康栄養学科は大きく減少した。

② 本学の教育全般についての満足度

- ・ 大学平均は前年度に比べて微増、短期大学平均は前年度に比べて減少した。
- ・ ビジネス心理学科、看護学科は増加し、言語文化学科は横ばいとなった。
- ・ 健康栄養学科、こども育成学科は減少、地域マネジメント学科は大きく減少した。



<参考>大学生活を過ごす中での実感等

※「とても感じる」「ある程度感じる」（愛着心については「とても愛着がある」「ある程度愛着がある」）と回答した者を合わせたもの

- ・「大学教員との交流があると感じている割合」は、前年度に比べて、大学で11.9pt減の65.2%、短期大学10.6pt減の68.4%となった。
- ・「大学の一員であると感じている割合」は、前年度に比べて、大学で7.9pt減の56.9%、短期大学で13.6pt減の55.6%となった。
- ・「居心地が良いと感じている割合」は、前年度に比べて、大学で2.3pt減の56.9%、短期大学で4.9pt減の52.6%となった。
- ・「愛着心があると感じている割合」は、前年度に比べて、大学で4.3pt減の55.8%、短期大学で18.6pt減の48.1%となった。
- ・2022年度は、いずれの項目も大学平均、短期大学平均で前年度を下回った。

